げんき通信

カビのおはなし

カビは地球上のほとんどの場所に生きていますが、日本のように暖かく湿気の多い環境は、特に生育に適しています。しかも、従来の木造住宅よりもはるかに気密性が高いコンクリート住宅が増えて、繁殖しやすい条件がそろっています。

家庭内でカビが生えやすいのは浴室や台所など、水まわりが中心ですが、押入れやクローゼット、靴箱の中なども、扉の開閉による空気の入れ換えが少ないと、空気が滞留しがちになり、カビの温床となります。

植物は種が地面に落ちて発芽し、そこから成長します。カビでは、植物の種にあたるのが胞子です。胞子は成熟すると空気中に飛散し、風に乗って運ばれ、条件のよいところに付着して発芽します。そして菌糸と呼ばれる糸状の細胞を延ばしていき、その先端に胞子ができます。この胞子の色がアオカビやクロカビなどの色になります。

カビが発育する条件は一般的に、温度、湿度、酸素、栄養の4つで、このうち最も影響が大きいのは湿度です。ほとんどのカビは室内の湿度が65%以下になると発育が困難となるので、乾燥による対策はいちばん効果的です。カビに水分を供給しないために、室内の湿度を下げることが大切で、エアコンや除湿機の利用が効率的です。食品では、含まれる水分が10%以下になると、カビが生える可能性がかなり低くなります。干し椎茸などの乾燥野菜、昆布、魚の干物などは保存性を高めた先人の工夫なのです。ただし、カビは低温下では増殖しにくくなりますが死滅するわけではなく、かなり長い間生きています。冷蔵庫や冷凍庫の中もカビから逃れることはできないので注意は必要です。

《北茂安店薬剤師／よしどみ》

水虫などの病気もカビが原因

水虫を起こすのはトリコフィトン属というカビ(真菌)で、日本では10種類ほどが確認されています。カビが繁殖する部位によって病名が異なり、足(水虫)・体部(たむし)・頭部(しらくも)・陰部(いんきん)などと呼ばれますが、原因は同じ真菌です。皮膚の表面だけでなく、肺の内部にカビが侵入して起こる病気もあります。また、カビの胞子が空気中を浮遊して、喘息やアレルギー性鼻炎などの原因になることもあります。

抗生物質はカビから誕生

日本の気候がカビの増殖と活動に適しているために、古来からカビの利用が進みました。清酒、みそ、しょうゆ、かつお節はコウジカビの働きによってできるものです。外側を白いカビでおおわれたカマンベールチーズなどの食品にもカビが利用されています。また、アオカビは食品に腐敗や損傷を与えますが、アオカビから作られた抗生物質のペニシリンが不治の病であった感染症から多くの人を救ったことは有名な話です。時と場合により、敵でもあり友でもあるカビと、これからも仲良く共存していけるといいですね。

COLUMN

げんきコラム

ルイボス茶を飲もう!

3月号でもお知らせしたのですが、ルイボス茶が今また話題です。TV番組で紹介されたこともあり、問い合わせが急に増えました。抗酸化作用が強く、カルシウムや鉄、カリウムなどのミネラルも豊富ですが、カフェインはゼロなので、赤ちゃんでも高齢の方でも妊婦さんでも安心です。

くぼ薬局ではオーガニック茶葉使用の製品が人気です。8・9月はお得なキャンペーンも実施中!試飲もできますので、ぜひご来店ください!

処方せんはぜんぶ「くぼ薬局」におまかせください。すべての病院・医院の処方せんを受け付け責任を持って調剤いたします。

あなたのまちのくすり箱
くぼ薬局

●中町店☎26-2817 FAX28-0802 ●木原店☎24-2233 FAX24-4227 ●中の小路店☎24-2882 FAX24-4503
●西与賀店☎22-2311 FAX29-2777 ●北茂安店☎0942-89-1777 FAX89-1888 ●医大通り店☎32-1133 FAX21-1344
●本部:県庁通り店☎23-4550 FAX26-8585